



3歳 Rくんのママとパパ

息子が2歳を過ぎたころでした。言葉を発するのが周りの子供たちに比べて遅く、非常に気になっておりました。「言葉が遅いのは母親のせい」妻がそんな事を言われたのもその頃でした。当時、確かに発する言葉は、パパ、ママ等、ごく限られた単語でしたが、夫婦二人で悪戦苦闘しつつも、「どこかのプレスクールに通わせれば、きっとすぐに喋れるようになるだろう」そんな安易な気持ちも正直ありました。

言葉を引き出してもらえて、就園準備も出来るようなプレスクール。いざ探してみると、なかなか思うような所はありません。悶々と時間ばかりが過ぎていく、そんなある日の事でした。妻が息子と近所をお散歩していると、子供達の元気な声が聞こえてくるお家があったそうです。ここは何だろう？早速、携帯で調べてみると「プレスクール」の文字が。そのまま、思わずインターホンを押したのが始まりでした。

ここでは、登園するとまず上履きに履き替え、持ち物を所定の場所に置くこと等、朝のお仕度から始まります。そして朝の会、工作や粘土遊び、公園遊び、お弁当、帰りの会までが大まかな一日の流れになります。まさに就園準備が出来る内容でした。

先生方は各々専門の資格を持ったプロの方々に、一人一人の子供の性格や様子、発育の過程等も良く把握されており、それらに応じた専門的な教え方をされます。また、毎回の振り返りの中では、親からのどんな質問や疑問、愚問？に対しても的確に答えていただき、アドバイスも頂けるところが大変ありがたいです。

息子はもともと穏やかな性格で一人遊びが好きだった為、当初はプレスクールでも一人で遊んでいる事が多く、お友達と衝突することもなく、ふんわりと過ごしていました。

ところが3歳になった今の息子は、先生方やお友達と過ごす此処での時間がとにかく楽しいようです。朝の会でのインタビューも大きな声で答えるようになり、公園に行っても一人で遊んでいたのが、お友達の名前を呼んで一緒に遊び、時には取り合いをして喧嘩をし、そして仲直りして。気が付けば2語文、3語文を目指していたはずが、ここでの出来事を楽しそうに話し、大人顔負けのおしゃべりまでするようになりました。また、集団のなかで身辺自立が進み、トイレトレーニング、お着替え、食事のマナー等、自宅においても様々出来るようになった事には驚きました。

息子の心の発育に感心させられる事もありました。いつしか、まわりのお友達に対する思いやりの気持ちを持つようになっていたのです。ある日、迎えに来るはずのお母さまが何かの理由で遅れてしまい、泣いていたお友達がいたそうです。そこで息子は、その子の肩を叩きながら「大丈夫だよ」と慰めていたという話を聞きました。自





分を迎えに来るはずの母親も遅れていたにもかかわらず。

子供にとって、幼少期というのは人格形成の非常に大切な時期であることは、様々言われていることですが、果たして教育の素人である私ども夫婦だけで何処まで出来るか不安は絶えません。ここを見つけ、藁をもつかむ気持ちで通わせるようになって約1年。目覚ましい成長を続ける息子を見て、先生方やお友達に感謝の気持ちでいっぱいです。同時に親の我々も、子供の成長を通じて色々気付かされ、勉強させて頂いている事に感謝しながら、日々子育てをしています。

気持ちばかり空回りしていた我々夫婦ではありましたが、もし、同じ様な御家族があれば是非おすすめしたいと思います。

